



身近なものが 災害時に役立つ!

災害時は必要なものが手元になかったり、物資が十分に行き届かなかったりします。そんなとき、身近にあるものが代用品として活用できることをご存知ですか?

例えば、毛布。

毛布は、担架がないときや使えない場所で担架代わりになったり、寒い避難所生活でからだ全体を包み込んで保温するガウンにもなります。

このような災害時に役立つ身近なもので作る代用品の研修を、1月18日に市川町文化センターで開催し、中播磨地区の赤十字奉仕団員28人が参加。ほかにも、風呂敷を使ったリュックサックや手ぬぐいを使った包帯法なども学びました。身近なもので簡単にできるとあって、感心しながら、また、楽しみながら取り組んでいました。参加者からは「とても参考になりました。誰にでもできる内容なので帰って練習します」と感想をいただきました。



キッチンペーパーが粉塵から
喉を保護するマスクに早変わり



「平成26年8月丹波市豪雨災害義援金」に ご協力をお願いします



義援金名：平成26年8月丹波市豪雨災害義援金
口座番号：みなと銀行 本店営業部 普通1871585
口座名義：日本赤十字社兵庫県支部 支部長 井戸敏三
受付期間：平成27年3月31日(火)まで

その他：(1)みなと銀行の本支店間の窓口(ATM含む)による振込手数料は無料となります。(インターネットバンキング、ダイレクトバンキングを除く)
(2)所得税などの税控除を受ける際には、受領証が必要です。

義援金や受領証などについては、振興課までお問い合わせください。TEL: 078-241-8921 (直通)

◆ お寄せいただいた義援金は、手数料などを一切いただきず、全額を被災された方々へお届けしています。



ひょうご安全の日推進事業 「災害対応力を身につけよう!!」開催のお知らせ

風化しがちな防災意識を新たにするとともに、いざというとき使える知識や技術を学んでいただくイベントを開催します。大人から子どもまで楽しみながら体験できる内容が盛りだくさん。ぜひご来場ください。

日時/ 2月7日(土) 12:00~14:00 雨天決行、荒天中止
場所/ 淡路島東浦サンパーク(淡路市久留麻2743)

内容/ 炊出し試食、三角巾を使った包帯法、担架搬送体験、災害時高齢者生活支援体験、バルーンアート、キッズ救護服とナース服で記念撮影など
※詳しくはホームページをご覧ください



10時30分から赤十字防災ボランティアによる総合防災訓練もおこないます(見学可)

ひょうご 赤十字

2015
February 2月



防災意識を新たに ~1.17は忘れない~

- 若者に献血を呼びかけ
- 「NHK海外たすけあい」にご協力ありがとうございました
- 赤十字ポスターコンクール受賞作品が決定
- 身近なものが災害時に役立つ!
- 「丹波市豪雨災害義援金」にご協力をお願いします
- ひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう!!」開催のお知らせ

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

T651-0073 神戸市中央区臨海通1丁目4番5号



078-241-9889



赤十字 兵庫

検索



防災意識を新たに

～1.17は忘れない～

阪神・淡路大震災から20年を迎えた1月17日。ひょうご安全の日のつどいとして「1.17ひょうごメモリアルウォーク」「交流ひろば」「防災訓練」がおこなわれ、兵庫県支部も参加協力しました。

兵庫県では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するとともに、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりに期する日として、1月17日を「ひょうご安全の日」としています。

メモリアルウォークの休憩所となった当支部駐車場では、みそ汁の炊出しをはじめ、震災の記録写真や、震災の経験と教訓をもとにその後取り組んできた兵庫県支部の活動、東日本大震災での救護・復興支援活動などをパネル展示で紹介。

寒い中、長い道のりを歩いてこられた参加者は、温かいみそ汁にホッと一息。パネル展示している震災の記録などを眺め、当時の経験を語られる方もおられました。

また「交流ひろば」では、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんが、災害時にいち早く対応できるようにと訓練も兼ね「赤十字まごころサービス」として野菜たっぷりの豚汁の炊出しをおこない、来場者に無料でふるまいました。

準備した600食の豚汁はあっという間に終了。ボリューム満点の温かい炊出しに、皆さん身も心も温まった様子でした。

このほか防災訓練への参加をはじめ、災害時に仮設診療所となるエアートントの展示、心肺蘇生とAEDの体験イベントなどをおこない、来場者に「防災への備え」を改めて考えていただく機会としていただきました。

災害からいのちを守る日本赤十字社として、震災の教訓「備える」「伝える」「活かす」をもとに、県民の皆さんの安全安心のため、これからも積極的な活動に取り組んでまいります。

パネル展示を通し、次代を担う子どもたちに震災の教訓を継承



防災ボランティアの皆さんと職員によるみそ汁の配付



負傷者の治療に必要な血液製剤の海路搬送訓練



若者に献血を呼びかけ

～兵庫県日赤有功会から献血者にプレゼント～

兵庫県日赤有功会から血液事業支援として、献血いただいた皆さまへの記念品に「けんけつちゃんケイタイスタンド」をご提供いただきました。

赤十字血液センターでは、輸血が必要な患者さんの尊い生命を守るため、多くの皆さまに献血へのご協力をお願いし、安全な血液を安定的に確保、供給できるよう日々努めています。なかでも次代を担う若年層への献血啓発が最も重要な課題であり、キャンペーンなどを通じて積極的に啓発活動に取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、1月12日の成人の日に「はたちの献血キャンペーン」のイベントで献血を呼びかけました。記念品のプレゼントに多くの献血者に喜んでいただいたほか、多くのご協力が得られ、若者への献血啓発をはじめ冬場の血液不足に大いに役立ちました。



イベントでは献血協力のお願いに店内をパレード



記念品の「けんけつちゃんケイタイスタンド」



「NHK海外たすけあい」にご協力ありがとうございました

世界中の災害や紛争、飢餓や病気などで苦しむ人々を救うため、毎年12月にNHKと共同で取り組む「海外たすけあい」募金キャンペーン。

今年度も兵庫県赤十字奉仕団や日赤有功会などの皆さまをはじめ、県内主要駅での街頭募金などを通して多くの方々からご協力いただきました。

お寄せいただいた募金は、激化する中東シリアなど紛争で苦しむ人々への支援や世界各地で相次ぐ災害で苦しむ人々への支援、エボラ出血熱などの病気から身を守るための支援に役立てられます。

ご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

◆ご協力いただいた募金のご報告

内訳	単位(円)
兵庫県赤十字奉仕団	1,232,700
兵庫県日赤有功会	12,719,945
特別赤十字奉仕団	170,730
青少年赤十字加盟校	53,386
地区・分区、その他	315,346
NHK	314,714
街頭募金	370,489
兵庫県支部・施設	476,111
総額 15,653,421円	



兵庫県赤十字奉仕団の政井副委員長から、同奉仕団の寄付金として123万円が井戸支部長に手渡されました。



街頭での呼びかけの様子 (JR姫路駅)



赤十字ポスターコンクール 受賞作品が決定

次代を担う皆さんに、生命の大切さや助けあいの心を育んでもらおうと、県内の小・中・高・特別支援学校の児童生徒を対象に募集した「赤十字ポスターコンクール」の受賞作品が決定しました。

今回のテーマは「防災」と「赤十字活動をおこなうハートラちゃん」。

阪神・淡路大震災から20年の節目に、震災の最大の教訓「いのちを救う、いのちを守る」ことの大切さを感じていただきたい、また、赤十字活動を知っていただきたいため2つのテーマで募集しました。

県内37校179作品の応募があり、最優秀賞には、南あわじ市立三原中学校2年生の松本留奈さんの作品が選ばれたほか、人を思いやる優しさや個性あふれるハートラちゃんなどが描かれた51作品が受賞しました。なお、受賞作品はホームページからご覧いただけます。



最優秀賞作品

展示のご案内

- 2月4日(水)～12日(木) アスピア明石北館7階 ウォールギャラリー(明石市東沖ノ町6-1)
 - 2月28日(土)～3月11日(水) さよう情報文化センター ホワイエ(佐用郡佐用町佐用2585)
 - 3月14日(土)～3月26日(木) 姫路みゆき献血ルーム(姫路市駅前町241 フェスタビル北館4階)
- ※展示スペースの都合上、展示内容が異なる場合がございます。

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。